

①入域観光客数概況

1. 入域観光客数概況（24年4～7月実績、8月～10月見通し）

			4-6月計	7月(実績)	8月(予測)	9月(予測)	7-9月計	4-9月計	10月(予測)
2024年度	国内	空路	1,719,900	689,700	760,000	630,000	2,079,700	3,799,600	687,000
		海路	12,600	2,600	2,700	2,700	8,000	20,600	3,800
		合計	1,732,500	692,300	762,700	632,700	2,087,700	3,820,200	690,800
	海外	空路	336,000	130,700	132,000	128,000	390,700	726,700	132,000
		海路	138,300	89,000	68,400	50,500	207,900	346,200	71,000
		合計	474,300	219,700	200,400	178,500	598,600	1,072,900	203,000
	国内・海外合計		2,206,800	912,000	963,100	811,200	2,686,300	4,893,100	893,800
前年度比	国内	空路	98.7%	105.3%	120.9%	105.1%	110.4%	104.8%	102.9%
		海路	60.3%	29.9%	77.1%	71.1%	50.0%	55.8%	71.7%
		合計	98.2%	104.3%	120.6%	104.8%	109.9%	104.3%	102.7%
	海外	空路	175.4%	162.8%	184.4%	160.8%	168.8%	171.8%	167.3%
		海路	609.3%	255.0%	275.8%	187.0%	239.8%	316.5%	194.5%
		合計	221.3%	190.7%	207.9%	167.4%	188.1%	201.5%	175.9%
	国内・海外合計		111.5%	117.1%	132.2%	114.2%	121.1%	116.6%	113.4%
19年度比	国内	空路	100.1%	105.5%	103.3%	106.9%	105.1%	102.8%	111.7%
		海路	64.9%	37.7%	112.5%	207.7%	75.5%	68.7%	67.9%
		合計	99.7%	104.8%	103.3%	107.1%	104.9%	102.5%	111.3%
	海外	空路	69.9%	75.1%	88.0%	106.0%	87.8%	78.5%	107.2%
		海路	41.1%	69.1%	51.5%	51.6%	57.8%	49.7%	66.1%
		合計	58.0%	72.6%	70.8%	81.6%	74.4%	66.2%	88.1%
	国内・海外合計		86.4%	94.6%	94.3%	100.2%	96.1%	91.5%	105.0%

(概況)

9月、10月の国内空路・海外空路の入域は、2023年度ならびに2019年度よりも好調に推移している。

国内入域について、石垣・宮古を含む沖縄線は全体的に好調である。8月は台風6号の影響を大きく受けた前年と比較し、120.9%と大幅に回復する見込みである。9月、10月も連休を中心に航空会社のタイムセールや各種イベントなどもあり、順調に需要が積みあがっている。

海外入域について、空路は台北、韓国仁川、香港路線の予約が引き続き堅調に推移している。中国路線の需要も改善傾向にある。

海路は、引き続き海外クルーズが好調に推移している。主に台湾(基隆・高雄)から寄港しており、その他、中国(上海・蛇口)からも寄港している。10月には南沙港(中国)からのクルーズ船寄港も予定している。

過年度実績については、沖縄県の[入域観光客概況](#)をご確認ください。

①入域観光客数概況

1. 入域観光客数概況（8月～10月見通し）

8月

国内

(空路) 76万人 (23年8月対比120.9%) と見込む。お盆期間中に台風の影響で欠航便が出たものの、各社前年度実績よりも好調。

(海路) 2.7千人 (23年8月対比77.1%) となる見通し。
国内クルーズは寄港なし。

海外

(空路) 13.2万人 (23年8月対比 184.4%) となる見通し。

(海路) 6.8万人 (23年8月対比275.8%) となる見通し。
台湾（基隆・高雄）・中国（上海・蛇口）などから25回寄港予定。うち5回は石垣港のみ寄港。

9月

国内

(空路) 63万人 (23年9月対比 105.1%) と見込む。

(海路) 2.7千人 (23年9月対比 71.1%) の見通し。
国内クルーズは寄港なし。

海外

(空路) 12.8万人 (23年9月対比 160.8%) となる見通し。

香港＝那覇路線

◆香港エクスプレス：9月1日（日）から復便（月・火・水・木・土・日）※運休延長

(海路) 5万人 (23年9月対比187.0%) となる見通し。
中国（上海）や香港、台湾（基隆）などから、19回寄港予定。うち5回は石垣港のみ寄港。

10月

国内

(空路) 68.7万人 (23年10月対比102.9%) と見込む。

(海路) 入域客数は3.8千人 (23年10月対比 71.7%) となる見通し。
国内クルーズは6回寄港予定。（東京・横浜・博多など）

海外

(空路) 13.2万人 (23年10月対比167.3%) となる見通し。

(海路) 7.1万人 (23年10月対比194.5%) となる見通し。
台湾（基隆）や香港、中国（上海・蛇口・南沙）などから25回寄港予定。
うち6回は石垣港のみ寄港。

(空路) 国内：県外発沖縄県内空港着の搭乗旅客数想定のうち、観光客の混在率をかけたもの
海外：海外発沖縄県内空港着の搭乗旅客数想定

(海路) 国内：乗船客数想定のうち日本国籍のもの
海外：乗船客数想定のうち日本以外の国籍のもの

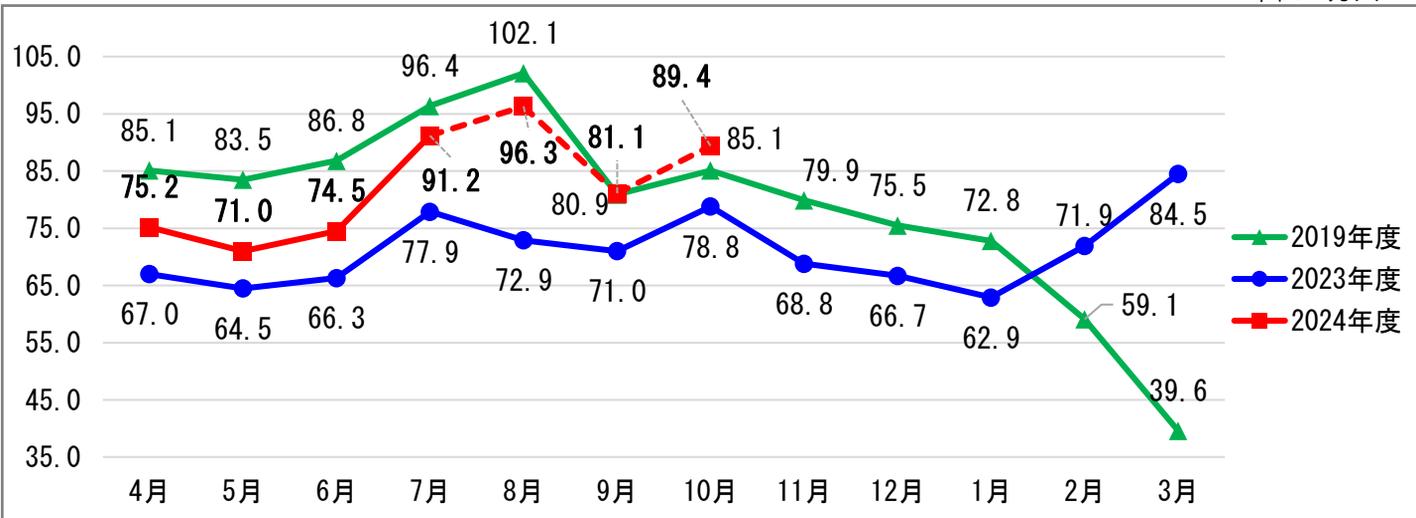
※国内クルーズ⇒発地が国内 海外クルーズ⇒発地が海外

①入域観光客数概況

1. 入域観光客数概況 (24年4~7月実績、8月~10月見通し) グラフ

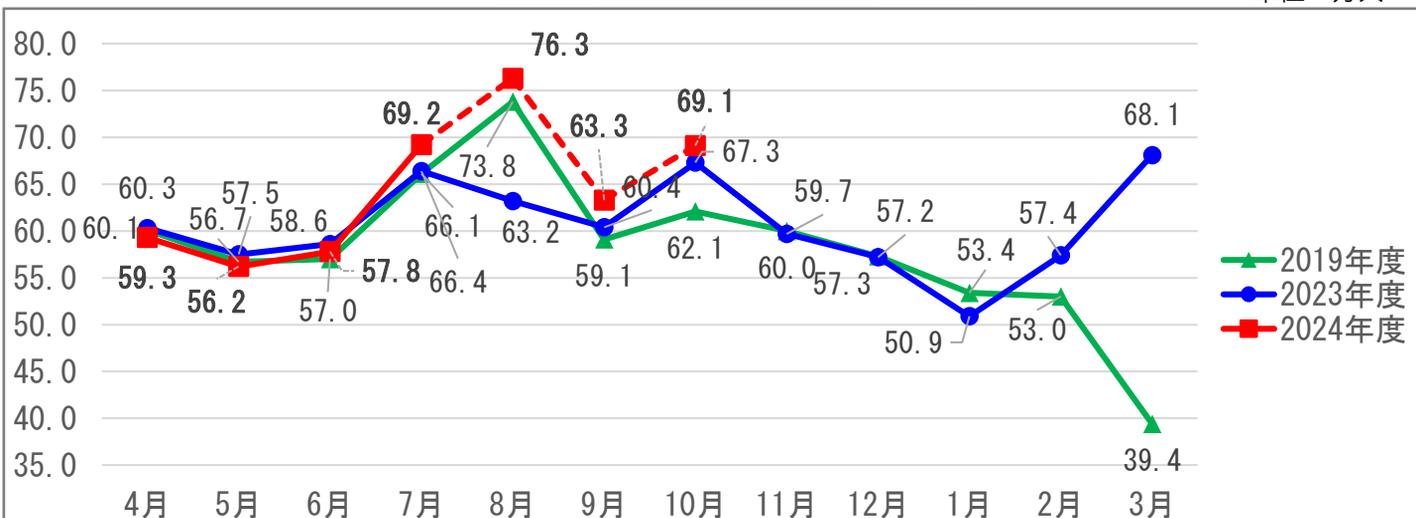
入域観光客 (国内・海外合計)

単位：万人



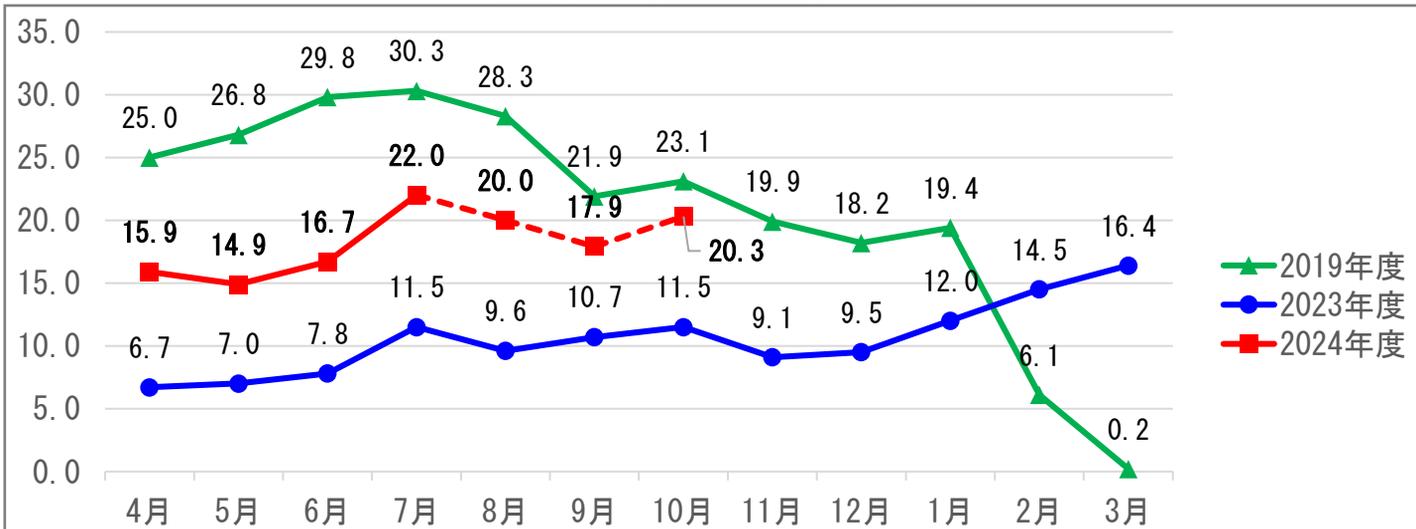
入域観光客 (国内)

単位：万人



入域観光客 (海外)

単位：万人



②空路国内線経由外国人入域概況（23年度推計値）

1.空路国内線経由外国人入域概況（23年度推計値）

地域別	人数	シェア	主要国
北米	133,000	53%	アメリカ・カナダ
ヨーロッパ	45,000	18%	イギリス・ドイツ・フランス・スイス・イタリア・スペイン・ロシア
アジア	35,000	14%	中国・香港・台湾・韓国・ASEAN・インド
オセアニア	5,000	2%	ニュージーランド・オーストラリア
中米/南米	3,000	1%	ブラジル・メキシコ
その他	29,000	12%	
合計	250,000	100%	

データ推計は、航空会社へのヒヤリングを実施しOCVBにて推計値を算出。主に海外で購入された日本国内線航空券などを参照しているため、国籍を明確に分類したものではない。

（概況）

空路国内線経由外国人入域について調査を行ったところ、2023年度推計値は250,000人程度となった。地域別シェアでは北米（米国・カナダ）が最も多く53%、続いてヨーロッパの18%と続く。欧米だけで全体の約7割を占め、空路国内線経由で多くの欧米客が沖縄へ入域していることが推測される。

（参考）

2023年度国籍別入域観光客数 沖縄県観光政策課公表「[入域観光客数概況](#)」より引用

国別	人数	シェア
台湾	528,500	41.8%
韓国	282,100	22.3%
中国本土	80,100	6.3%
香港	149,600	11.8%
アメリカ	37,100	2.9%
カナダ	10,100	0.8%
イギリス（本国）	9,600	0.8%
フランス	1,800	0.1%
タイ	6,400	0.5%
シンガポール	10,200	0.8%
マレーシア	5,200	0.4%
インドネシア	1,700	0.1%
オーストラリア	7,800	0.6%
その他	133,300	10.8%
合計	1,263,500	100.0%

※海外空路・海外海路にて沖縄県から日本へ入国した人数。
※法務省出入国在留管理庁及び船社代理店の資料に基づいており、乗務員等を含む。（その他に一括計上）